

丹邱学舎

＜学校教育目標＞

志をもち、自ら学び、共に高め合い、
たくましく生きぬく西溪っ子の育成

令和4年6月8日(水) 文責 校長 南里美紀江

感動の体育大会をありがとう！

子どもたちの頑張りとお坊主のおかげで、心配された天気も見事回復し、5月29日(日)体育大会を無事に開催することができました。約2週間の間、どの学年も出場種目の準備・練習と勉強を両立して、毎日頑張っていました。そして、その成果が見事に発揮できた体育大会となりました。その中でいくつか感想を述べます。

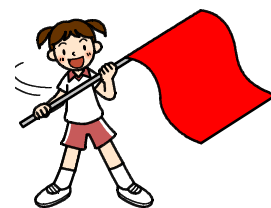
1～4年生のダンスはかわいさが魅力のツバメダンス。学年が上がるに従いダンスにキレと力強さが生まれていました。帰宅後タブレットPCでダンスの練習をしていた人も多かったようです。5～7年生は大玉運びで、瞬時の判断とチームワークを発揮しました。特に圧巻だったのは、入場行進で交差しながら整列する場面です。列を乱さず赤団と青団がクロスして場所を入れ替わった時、思わず感嘆の声が上がっていました。8～9年生は、スピード、力、作戦が勝敗を決めるロープ引き。勝利を目指しながらもルールを守って引き合っている姿が、印象的でした。思わず見ている人たちも手に汗を握りながら応援しました。



義務教育学校ならではの西溪会種目。1～9年生が一緒に行う競技を考えるのはとても難しいものです。それを今年も西溪会の役員達が中心となって考え、練習し、改善しながらの「鉄腕ダッシュ」でした。

試行錯誤の末、全員が活躍できた競技になりました。発達段階による違いと成長を目の当たりにできるスウェーデンリレー。9年生が最上級生としての迫力ある走りで、カッコイイ姿を見せてくれました。5～9年生による応援合戦は、今年も見応えのあることができました。感染対策と熱中症対策をしながらの練習と演舞構成。団長・副団長をはじめ応援リーダー達が団員をまとめ上げて、甲乙つけがたい一体感と迫力ある応援になっていました。

岸川放送体育委員長の言葉のように、記憶に残る体育大会になったのは、シナリオを基本にアドリブで臨場感あふれるアナウンスをした放送係、2週間前から朝と昼に草取り・石拾いをしてくれた文化整美委員会と9年生、大きな音や放送を理解してくださった近隣の皆さん、子どもたちの心身を支えてくださったご家族のおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



応援リーダー達の紹介

	赤 団		青 団
5年	一ノ瀬さん 峰原さん	5年	古賀さん 森さん
6年	小野さん 西山さん	6年	泉さん 野口さん
7年	岡田さん 貝通丸さん	7年	小林さん 南さん
8年	大塚さん 小野さん	8年	椿原さん 平野さん
9年	岸川さん(団長) 野田さん(副団長) 青木さん	9年	田淵さん(団長) 陣内さん(副団長) 泉さん

リーダーゆえの大変さを体験できたことは財産です。これからも学校生活や活動の際に、リーダーとして、あるいはリーダーを支えるフォロワーとしての行動を期待しています。それが、リーダーを支えてくれたみんなへの恩返しになりますね。

入賞おめでとう！

西溪校には、自分が得意なこと、やりたいことに挑戦して、がんばっている人がたくさんいます。学校の勉強だけでなく、いろいろなことに挑戦するのは、とても意味のあることです。みんなの挑戦を、応援します！

- ☆令和4年度多久市少年サッカー新人大会（Aリーグ）準優勝 多久中部少年SC
- ☆令和4年度多久市少年サッカー新人大会（Bリーグ）第3位 多久中部少年SC
- ☆スプリングカップ2022(空手)中級クラス小学4年女子の部 準優勝 4年 岩永さん
- ☆スプリングカップ2022(空手)挑戦クラス小学3年女子の部 優勝 3年 岡島さん
- ☆スプリングカップ2022(空手)超上級クラス小学3年女子の部 準優勝 3年 岩永さん
- ☆第14回全日本空手道選手権大会 中級小学4年女子 優勝 4年 岩永さん
- ☆西日本一輪車演技大会LグループSAGAポップテン 優勝 田中さん

校長のつぶやきコーナー

何かの本で、「人間は一日に誕生する細胞と消滅する細胞のバランスが崩れ、消滅する細胞の数が上回ったとき老化が始まる」と読んで納得。特に50歳を過ぎた頃から体のあちこちが痛くなり、このまま歳を重ねできないことが増えていくのかとあきらめていました。そんなとき、20歳ほど下の知人から「元気なおばあちゃんになって！」とヨガを勧められ、運動が苦手な私ですが始めてみました。そうしたら、びっくり！50代後半でも柔軟性が出て、筋肉もついて、5年前の私より今の方が元気です。人間てすごい！生命力ってすごい！

というわけで、伸び盛りの子もたちには無限の可能性があると確信しています。